

「テレワーク東京ルール」について

テレワーク戦略ビジョン

テレワークで実現するワーク・ビジネススタイルの変革

➤ 働き方改革

➤ ビジネス革新

➤ 人材活用

➤ 危機管理

➤ 地域振興

ライフ・ワーク・バランスの実現

生産性の向上（ビジネスにおけるDX）

多様な人材の活躍（ダイバーシティの実現）

災害・感染症拡大時など非常時の事業継続

勤務地・働く場所の分散による地域活性化

テレワーク実践ルール（我が社のテレワークルール）

＜ルールの設定（例）＞ 戦略ビジョンを踏まえ、各企業が実情に応じ具体的な取組ルールを設定

- 働き方改革 : テレワークデー・テレワークウィークの設定、育児・介護中はテレワーク勤務を活用
- ビジネス革新 : 会議や商談・営業は、オンラインで実施（テレビ・ウェブ会議システムの活用）
- 人材活用 : テレワークの活用で障害者等の雇用促進、研修は在宅でeラーニングで実施
- 危機管理 : 警報（台風・大雪等）時や、感染症の拡大時は原則テレワーク勤務
- 地域振興 : 観光地のサテライトオフィス勤務の実施

メガイイベント開催時のテレワークルール

- 東京2020大会等の期間中は、テレワークや時差出勤を積極的に実施